

早稲田大学 法学部  
2016 年度 入試問題の訂正内容

<法学部 一般入試>

【世界史】

問題冊子 3 ページ : I 設問 6

選択肢に正解として扱うことができるものが複数あったため、  
そのいずれを選択した場合も得点を与えることといたします。

以上

## 世 界 史

(問 題)

2016年度

〈H28103412〉

## 注 意 事 項

1. 試験開始の指示があるまで、問題冊子および解答用紙には手を触れないこと。
2. 問題は2～9ページに記載されている。試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚損等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせること。
3. 解答はすべて、HBの黒鉛筆またはHBのシャープペンシルで記入すること。
4. マーク解答用紙記入上の注意
  - (1) 印刷されている受験番号が、自分の受験番号と一致していることを確認したうえで、氏名欄に氏名を記入すること。
  - (2) マーク欄にははっきりとマークすること。また、訂正する場合は、消しゴムで丁寧に、消し残しがないようによく消すこと。

マークする時	● 良い	⊗ 悪い	○ 悪い
マークを消す時	○ 良い	⊗ 悪い	○ 悪い

5. 記述解答用紙記入上の注意
  - (1) 記述解答用紙の所定欄（2カ所）に、氏名および受験番号を正確に丁寧に記入すること。
  - (2) 所定欄以外に受験番号・氏名を書いてはならない。
  - (3) 受験番号の記入にあたっては、次の数字見本にしたがい、読みやすいように、正確に丁寧に記入すること。

数字見本	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

- (4) 受験番号は右詰めで記入し、余白が生じる場合でも受験番号の前に「0」を記入しないこと。

	万	千	百	十	一
(例) 3825番⇒		3	8	2	5

6. 解答はすべて所定の解答欄に記入すること。所定欄以外に何かを記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。
7. 試験終了の指示が出たら、すぐに解答をやめ、筆記用具を置き解答用紙を裏返しにすること。
8. いかなる場合でも、解答用紙は必ず提出すること。

I 中国史との関連から見たベトナム史に関する以下の文を読み、設問1～9について解答を一つ選び、その記号をマーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

前221年、秦の始皇帝は中国を統一すると、さらに南方へ進出し、当地に三郡を置いた。その結果、現在のベトナムの一部を含む広大な領土が形成された。始皇帝の病没後、農民反乱が起こり、その渦中で秦が滅亡すると、南海郡は他の二郡を併合して自立し、南越国が建国された。南越は現在の広州を都とし、南シナ海に接して海上交易で栄えた。一方、中国本土で劉邦によって前漢が建国されると、南越は正式に漢に冊封された。しかし南越は漢に服属しながら自立をめざし、前漢武帝のとき武力衝突に発展し、漢に滅ぼされた。武帝はその故地に九郡を置いて統治した。

南越の故地は南海物産の集散地で、そのため植民地官吏の誅求や腐敗が多く、越人の反抗をまねき、しばしば大きな反乱が起こった。唐では服属した周辺諸民族を統治する機関として都護府を設置したが、ベトナムには現在のハノイに置き、越人を統治した。しかし唐はたび重なる反乱に苦しみ、ベトナムでは独立の機運が高まった。

10世紀になり、ようやくベトナムは中国王朝の支配から自立する。短命な政権の興亡をへて、11世紀初に最初の長期政権である李朝が興った。李朝は大越を国号とし、宋やカンボジアの侵入を撃退し、ベトナム中部のチャンパーに遠征した。李朝が倒れて陳朝が興ると、陳朝はモンゴル軍を三度にわたって撃退した。陳朝が滅亡すると、明はその復興を口実に軍隊を派遣し、ベトナムを支配した。陳朝の武将黎利は、明軍を撃退して黎朝を開いた。しかし臣下によって一時王位が奪われ、その後実権は北の鄭氏と南の阮氏に移り、国内は南北に分裂した。18世紀後半になると、西山党の乱が起こって阮・鄭両氏を滅ぼし、ベトナムを統一して西山朝が樹立された。西山朝は阮氏政権の生き残りの阮福映によって倒され、阮朝が樹立された。これがベトナム最後の王朝となる。

その後、阮朝はフランスの侵略をうけ、その保護国となった。かくてベトナムはフランス領インドシナの一部となったが、反仏独立運動が盛んとなり、ホー＝チ＝ミンはベトミンを指導し、1945年9月に（あ）の独立を宣言し、ホー＝チ＝ミンが初代大統領となった。

設問1 下線部 a の「広州」に関して、誤った記述はどれか。

- ① 現在の広東省の珠江下流の港市である。
- ② 唐代にムスリム商人が来港し、市舶司と蕃坊が置かれた。
- ③ 清の乾隆帝のとき、ヨーロッパ船の来航を広州一港に制限した。
- ④ 南京条約で清が開港を認めた五港とは、広州・泉州・厦門・寧波・上海である。

設問2 下線部 b の「冊封」に関して、誤った記述はどれか。

- ① 中国の皇帝が周辺諸民族の君主を封ずることで形成された東アジアの国際関係を、冊封体制という。
- ② 倭の五王の使者が洛陽を訪れ、後漢の光武帝から金印が与えられた。
- ③ 室町幕府の將軍足利義満は明から「日本国王」に冊封された。
- ④ 阮福映は清から越南国王に冊封された。

設問3 下線部 c の「九郡」の中に含まれる郡の一つで、大秦王安敦の使者が到着したとされる郡はどこか。

- ① 日南郡
- ② 南海郡
- ③ 交趾郡
- ④ 桂林郡

設問4 下線部 d の「都護府」に関する説明として、不適切なものはどれか。

- ① 漢および唐によって、服属した諸国家・諸民族を統治するために置かれた機関である。
- ② 唐は西域統治のため、亀茲（クチャ）に西域都護府を置いた。
- ③ 唐は高句麗を滅ぼして、平壤に安東都護府を置いた。
- ④ 唐は東突厥の平定後、内モンゴルの統治のため、単于都護府を置いた。

設問5 下線部 e の「チャンパー」に関する説明として、不適切なものはどれか。

- ① チャンパーはチャム人の国家で、後漢から独立して建国し、中国では林邑と呼ばれた。
- ② 中国からの独立後、インド文化の影響を受けた。
- ③ 唐末以後、中国では占城と呼ばれ、海上交易で繁栄した。
- ④ 中国は北宋のとき占城稻を導入し、水稻二期作が可能となり、「湖広熟すれば天下足る」と称された。

設問6 下線部 f の「モンゴル軍」の侵攻は誰の治世のときか。

- ① チンギス=ハン
- ② オゴタイ=ハン
- ③ モンケ=ハン
- ④ フビライ=ハン

設問7 下線部 g の「明」の対外関係に関する説明として、不適切なものはどれか。

- ① 永楽帝は自ら軍を率いてモンゴル遠征を繰り返した。
- ② 永楽帝は鄭和の船団を東南アジア・インド洋に派遣し、南海諸国の朝貢が促進された。
- ③ 明はタタールと土木堡で戦い、敗北して正統帝が捕虜となった。
- ④ 長城東端に位置する山海関は、清軍の南下を防ぐ最後の砦だった。

設問8 下線部 h の「阮朝」に関する記述として、不適切なものはどれか。

- ① 阮福映は西山軍との戦いでフランス人宣教師ピニョーらの援助を受けた。
- ② 19世紀半ばになると、フランスはカトリック教徒の迫害を口実に出兵し、メコン川流域を奪った。
- ③ フランスの領土拡大の動きに対し、劉永福の組織する黒旗軍はベトナム北部に根拠をおいて抵抗した。
- ④ サイゴン条約によってベトナムがフランスの保護国となると、清朝はベトナムに対する宗主権を主張し、清仏戦争が起こった。

設問9 空欄 (あ) に入る最も適切な語句はどれか。

- ① ベトナム独立同盟
- ② ベトナム民主共和国
- ③ ベトナム国
- ④ ベトナム共和国

## II 次の文章を読み、以下の問いに答えなさい。解答はマーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

混合政体論は古典古代の政治理論が現代に至るまで影響を及ぼした重要な思想の一つである。

ギリシア都市国家に政治的安定をもたらすため、さまざまな思想上の試みがなされた。一人支配（王政）、少数支配（貴族政）、多数支配（民主政）というように、統治を担う者の数によって政体を分類し、それぞれの類型の中に善き政体と悪しき政体があるとして、善き政体を組み合わせることで国家を安定させようという思想が生まれた。伝わっている限りで政体を混合するという言葉を始めて用いたのは、ペロポネソス戦争の歴史を叙述した（①）である。②古代ギリシア思想では、さまざまな混合政体論が唱えられた。例えば、プラトンは王政と民主政の混合を、アリストテレスは富者・中間層・貧者が混合され中間層が権力を持つ政体を構想した。古代ギリシア思想で一般に理想的とされたのは、③スパルタの混合政体だった。こうした思想はローマにも受け継がれた。とりわけ、ポリビオスは、ローマが前216年に（④）で大敗北を喫したにもかかわらず、前168年にはマケドニア王国を解体するほどの世界勢力となった理由を混合政体に求めた。彼によれば、ローマ政体は、コンスル（王政）、元老院（貴族政）、民会（民主政）、それぞれが権力を分有し、互いに抑止し合い、全体の均衡を維持する権力分立のシステムだった。ポリビオスより1世紀後に、キケロは、⑤前2世紀末から続く「内乱の1世紀」という状況に危機を感じ、「内乱の1世紀」に先立つ時期のローマ政体を三つの善き政体が協調するものと捉え、その復活を主張した。けれども、ローマ帝政という一人支配の開始によって、混合政体論はその実質を失ってしまう。

混合政体論は、⑥中世を通じての古典古代文化復興の動きの中で復活した。14世紀には、アリストテレスの政体分類に基づいて、より小さな都市にはアリストテレス的な混合政体が望ましく、ヴェネツィアやフィレンツェには貴族政が望

ましいとする見解が示された。とりわけ、フィレンツェの政治家・歴史家である(⑦)は、16世紀初頭に著した『ローマ史論』でポリビオスに近似する混合政体論を展開した。17世紀にはイギリスで、チャールズ1世が、議会に対抗するため、イングランドの古くからの政体は王政・貴族政・民主政の混合であると主張した。さらに、アメリカ合衆国憲法の準備に当たって、ジェファソンがポリビオス等の古代の文献をパリからアメリカに送ったことが知られている。アメリカ政体は諸機関への権力分割と各機関相互の抑止による均衡のシステムである。古典古代に由来する混合政体論は現代に至るまで大きな影響を持ち続けているのである。

設問1 空欄(①)に入る最も適切な人名を以下のア～エから一つ選びなさい。

ア ヘシオドス    イ ピンダロス    ウ ヘロドトス    エ トウキディデス

設問2 下線部②に関し、古代ギリシア思想について明白な誤りを含む文章を以下のア～エから一つ選びなさい。

- ア プロタゴラスは、「万物の尺度は人間」とし、真理は個人の主観や判断のうちに存在すると主張した。  
イ ソクラテスは、客観的真理の存在を主張し、「無知の知」を自覚させるためさまざまな著作を残した。  
ウ プラトンは、真に存在するのは善や美という観念で現実世界はその観念が現れたものにすぎないという、イデア論を主張した。  
エ アリストテレスは、諸学を体系的・網羅的に集大成し「万学の祖」と呼ばれ、イスラーム哲学にも影響を与えた。

設問3 下線部③に関し、スパルタについて明白な誤りを含む文章を以下のア～エから一つ選びなさい。

- ア スパルタは、ドーリア人が先住民族を征服して建設し、ペロポネソス半島南部に位置するポリスである。  
イ スパルタでは穀物の自給が可能で、市民の商工業活動や貴金属貨幣の使用が禁じられた。  
ウ ヘイロータイ(ヘロット)は、スパルタの不完全市民で、貢納・従軍の義務を負わされたが参政権を持たなかった。  
エ リュクルゴスは、被征服民の反乱を抑止するため、軍国主義的諸制度を確立したと伝わる。

設問4 空欄(④)に入る最も適切な地名を以下のア～エから一つ選びなさい。

ア カンナエ(カンネー)    イ ザマ    ウ アクティウム    エ トイトブルク

設問5 下線部⑤に関し、「内乱の1世紀」について明白な誤りを含む文章を以下のア～エから一つ選びなさい。

- ア マリウスは無産市民の志願者に武器を支給し軍団を構成するという軍政改革を行い、この改革は有力将軍によるローマ軍団私兵化の先駆となった。  
イ スラは、閥族派の政治家・軍人として元老院の権威を復興しようとし、任期無期限のデイクタトルに就任して平民派を弾圧した。  
ウ トラキア出身の剣奴スパルタクスが起こした反乱は、多数の奴隷が合流して大反乱となったが、クラッススやポンペイウスによって平定された。  
エ キケロは、騎士出身の政治家・文筆家として活躍したが、カエサルによって暗殺された。

設問6 下線部⑥に関し、中世を通じての古典古代文化復興の動きについて明白な誤りを含む文章を以下のア～エから一つ選びなさい。

- ア アルタインは、カール大帝に招かれて宮廷学校の運営にあたり、カロリング＝ルネサンスで中心的役割を果たした。
- イ 12世紀には、商業活動や十字軍を通じてビザンツ帝国やイスラーム圏からギリシア古典がもたらされ、それがラテン語に翻訳されることで、学問や文芸が大きく発展した。
- ウ 14世紀頃にイタリアで生じたルネサンスは、古代ギリシアやローマの文化を模範とし、ミラノ公やローマ教皇などの保護の下で展開された。
- エ ダンテはヴェネツィア地方の口語を用いて『神曲』を著し、その言葉から現在のイタリア語の標準語が発展した。

設問7 空欄(⑦)に入る最も適切な人名を以下のア～エから一つ選びなさい。

- ア コジモ＝デ＝メディチ    イ ロレンツォ＝デ＝メディチ    ウ サヴォナローラ    エ マキアヴェリ

設問8 下線部⑧に関し、17世紀のイギリス文化について明白な誤りを含む文章を以下のア～エから一つ選びなさい。

- ア イギリス最古の学術団体である王立協会が設立され、チャールズ1世の勅許を得た。
- イ ニュートンは、『プリンキピア』を著し、万有引力の法則など、力学の諸法則を体系化した。
- ウ ボイルは、気体の圧力と体積の関係を解明し、気体力学の基礎を確立した。
- エ フランシス＝ベーコンは、『新オルガヌム』を著し、知に至る過程を阻害する要因を考察した。

設問9 下線部⑨に関し、アメリカ合衆国憲法について明白な誤りを含む文章を以下のア～エから一つ選びなさい。

- ア 1787年、ワシントンを議長とする憲法制定会議がフィラデルフィアで開催された。
- イ 中央政府への権力集中を批判し各州の自治権尊重を主張して、ハミルトンを中心に反連邦派が形成された。
- ウ アメリカ合衆国憲法は、1787年に制定され、1788年に9州の批准により発効した。
- エ アメリカ合衆国憲法は、外交の権限に加え、徴税権・通商規制権を中央政府に与えた。

### Ⅲ 次の文章を読み、以下の問いに答えなさい。解答はマーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

ヨーロッパの諸国は、15世紀末頃から積極的に海外へ進出しはじめ、新航路の発見や探検活動によって商工業が活発な世界的先進地域となった。とくに商業革命や価格革命と呼ばれる大きな変動が<sup>①</sup>おこり、「世界の一体化」や「近代世界システム」というヨーロッパを起点とした世界規模の国際関係が構築されていった。まず16世紀のヨーロッパでは、ポルトガルやスペインが世界各地に貿易拠点や植民地を建設したが、17世紀になると、これに代わってオランダ・イギリスなどの新興勢力が台頭して植民・貿易活動を積極的に展開し、覇権争いをおこなった。

とくに、両国ではともにスペインに反抗することから、この活動が始まった。オランダでは、スペイン支配下のネーデルラントから、北部を中心にした州が、<sup>②</sup>政治的・宗教的・経済的な問題を背景に独立運動を開始し、1581年にネーデルラント連邦共和国として独立を宣言した。独立したオランダの政治組織は総督を中心にした共和政で必ずしも強固ではなかったが、1602年にオランダ東インド会社を設立して、東南アジアに乗り出し、ポルトガル勢力を排除しながら、**A**を中心に東洋貿易を独占していった。オランダはアメリカ大陸にも進出し、17世紀にはスペインに代わってヨーロッパ第一の貿易国となり、世界商業・金融の中心地として繁栄し、また<sup>③</sup>多くの科学者、思想家、芸術家を輩出するなど黄金時代を迎えた。

イギリスは、テューダー朝のエリザベス1世の時代に、スペイン勢力と抗争を繰り返し、1588年には無敵艦隊(アルマダ)を打ち破って海上帝国の基礎を築いた。1600年にイギリス東インド会社を設立して、アジア方面にも乗り出し、インド本土を中心に貿易活動を展開した。また北アメリカにおける植民活動も活発におこなわれ、その後1620年、ピル

グリム＝ファーザーズと呼ばれるピューリタン（清教徒）の一派がメイフラワー号で到達し、ニューイングランド植民地を開くなど、18世紀前半までに、北米東海岸に13植民地を建設した。また西インド諸島各地にも植民地が作られ、大規模農園（プランテーション）を建設して、三角貿易を幅広く展開した。

オランダとイギリスは、17世紀になると世界各地で対立と抗争を繰り返すようになった。とりわけイギリスではピューリタン革命が<sup>⑤</sup>おこり、**B**年にクロムウェルによって発令された航海法が、オランダ人をイギリスの貿易から排除し、オランダの海上権に打撃をあたえようとしたために、両国の対立が激化し、イギリス＝オランダ戦争が勃発した。この戦争は3回にわたって展開されたが、イギリス側の有利に終わり、オランダの制海権は弱体化して、イギリス優位が確定した。その後、イギリスは名譽革命を経てオランダから君主を迎えたが、世界的な海上権と経済圏の獲得のために、つぎにフランスと覇権争いを約1世紀間繰り返すことになった。

設問1 下線部①に関連して、近代ヨーロッパの商業革命・価格革命や、「世界の一体化」・「近代世界システム」について述べた次の1～4の説明の中から誤っているものを一つ選びなさい。

- 1 ヨーロッパの商業・貿易活動は世界的な広がりをもつようになり、ヨーロッパ貿易の中心は地中海から大西洋に移動した。
- 2 ラテンアメリカから大量の銀がヨーロッパにもたらされ、銀価格の暴落によってヨーロッパの物価は大幅に上昇した。
- 3 ポルトガル商人がアカブルコ貿易を開拓することにより、ヨーロッパとアジアが太平洋をとおして結ばれて、「世界の一体化」がいっそう推進された。
- 4 「近代世界システム」という考え方は、近代ヨーロッパを中心にした資本主義体制の形成を世界的な分業システムの下で、理解しようとするものである。

設問2 下線部②に関連して、オランダの独立に関して述べた次の1～4の説明の中から誤っているものを一つ選びなさい。

- 1 スペイン支配下のネーデルラントという呼称は「低地地方」を意味するが、この地域は、中世以来、毛織物工業と海上貿易の発展で栄えた地方であった。
- 2 ネーデルラント北部7州は、宗教的にはカルヴァン派のプロテスタントが多く、ユトレヒト同盟を結成して独立運動を進めた。
- 3 ネーデルラント南部10州は、宗教的にはカトリックが多く、独立戦争から離脱してアラス同盟を結成し、スペイン支配下にとどまった。
- 4 ロッテルダムを州都とするホラント州が、北部7州を主導して戦い、オラニエ公ウイレムがネーデルラント連邦共和国の初代総督となった。

設問3 下線部③に関連して、次の科学者・思想家・芸術家の中から、16～17世紀のオランダ出身の人物としてあてはまらない者を次の1～4から一つ選びなさい。

- 1 レンブラント    2 ライプニッツ    3 グロティウス    4 スピノザ

設問4 下線部④に関連して、次のそれぞれ3植民地の組み合わせの中から、イギリスの初期の北米13植民地にすべてが含まれる組み合わせはどれか。次の1～4から一つ選びなさい。

- 1 マサチューセッツ、オハイオ、ジョージア
- 2 ニューハンプシャー、フロリダ、コネティカット
- 3 ペンシルヴェニア、メリーランド、デラウェア
- 4 ルイジアナ、ヴァージニア、ニューヨーク

設問5 下線部⑤に関連して、イギリスでピューリタン革命が起こるまでの事件や事象の展開が古いものから時代順に並んでいるものを次の1～4の中から一つ選びなさい。

- 1 権利の請願 → ジェームズ1世による王権神授説の主張 → 短期議会の招集 → 長期議会の招集
- 2 ジェームズ1世による王権神授説の主張 → 権利の請願 → 短期議会の招集 → 長期議会の招集
- 3 ジェームズ1世による王権神授説の主張 → 短期議会の招集 → 権利の請願 → 長期議会の招集
- 4 権利の請願 → 短期議会の招集 → ジェームズ1世による王権神授説の主張 → 長期議会の招集

設問6 下線部⑥に関連して、イギリスにおける名誉革命からの議会政治の展開について述べた次の1～4の説明の中から誤っているものを一つ選びなさい。

- 1 ジェームズ2世の反動政治に対抗して、議会は王女メアリとその夫オランダ総督オラニエ公ウィレム3世を新王として迎えた。
- 2 1689年に議会の提出した権利の宣言は、権利の章典として制定され、議会の王権に対する優越を明確にすることで、議会主権に基づく立憲王政が確立した。
- 3 1689年に、国教徒以外のプロテスタントに対して信教の自由を認めた寛容法が、議会で制定された。
- 4 1721年にトーリ党のウォルポールが実質的な首相となって議会政治を進め、責任内閣制が形成されていった。

設問7  に入る最も適切な地名を次の1～4の中から一つ選びなさい。

- 1 ジャワ島
- 2 カルカッタ
- 3 マニラ
- 4 マカオ

設問8  に入る最も適切な年を次の1～4の中から一つ選びなさい。

- 1 1648
- 2 1651
- 3 1653
- 4 1655

IV キリスト教史に関する次の文章を読み、設問に答えなさい。解答はマーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

ナザレ出身のイエスは、バプテスマのヨハネから洗礼を受け、その後「神の国は近づいた。悔い改めて福音を信ぜよ」という教えを広め始めた。彼はモーセの律法を尊重しつつも、安息日に病人を癒し、取税人など下層と見なされている人々を招くなどして、祭司階級や  と対立した。彼はペテロらを弟子に選んで活動したが、その一人であるユダの裏切りによって捕えられ、反乱を企てる者としてローマのユダヤ総督ピラトに訴えられ、十字架の刑に処せられた。しかし弟子たちは彼が復活したと考え、彼をメシアと見なす信仰が生まれた。

イエスの死後、その言行が弟子たちによって伝えられ、信者たちの共同体として教会が形成された。活動はユダヤの地域を越えてギリシアおよびローマ世界に、またユダヤ人から異邦人へと広まり、各地に教会が建てられ、 新約聖書が編纂され、キリスト教が成立した。

キリスト教は、皇帝崇拝を旨とするローマでは、まず  帝による迫害にあった。そのうち  帝の大規模な迫害が失敗に終わると、 帝は、313年、キリスト教を公認した。380年には、 帝によりローマ帝国の国教となった。教会内部では、325年のニケーア公会議で、アリウス派が異端とされ、アタナシウス派が正統の地位を占めた。 431年のエフェソス公会議ではネストリウス派が、また451年のカルケドン公会議では単性論が、異端とされた。ローマ教会はやがてカトリック（普遍的）と称し、その首長は教皇としての権威を持つようになった。

ローマ帝国は395年に東西に分裂する。西ローマ帝国が滅亡すると、カトリック教会はフランク族との結びつきを強め、496年にはその王クローヴィスを改宗させた。レオ3世は800年にフランク王カールに帝冠を授け、西ヨーロッパ中世世界が成立した。他方、東ローマ帝国では、ギリシア正教会が皇帝に支持され、東欧からロシアまで広がった。画教会は1054年に分裂した。

西ヨーロッパ世界で、教皇権は13世紀初めのインノケンティウス3世のときに絶頂に達した。しかし、このころから

教会の世俗化が目立ち始め、それを批判してフランチェスコ修道会など、修道院の外に出て民衆を教化しようとする托鉢修道会の運動が始まった。他方で、11世紀末、進出してきたイスラーム勢力に対して聖地を奪回するという名目で教皇ウルバヌス2世が呼びかけて始まった十字軍は、数度に及んだが失敗し、教皇権は衰退に向かった。

教会と世俗の乖離はいっそう拡大した。そのような動きの中で、ルターは1517年、免罪符の発行を機会に九十五カ条の論題を出してカトリック教会を批判し、「人が救われるのはただ信仰による」という福音主義を主張した。この主張に拠る人々はプロテスタントと、また運動は宗教改革と呼ばれた。この考えはヨーロッパの主に西方および北方に広まり、イングランドでは、ヘンリ8世の時にイギリス国教会を成立させた。そののち、大陸では新旧両派の宗教戦争が繰り返された。カトリック教会は、宗教改革に対抗する体制を整え、あらたな布教に乗りだした。

設問1 空欄①に入るもっとも適切な語句を、次の中から一つ選びなさい。

- イ カタリ派    □ パリサイ派    ハ 再洗礼派    ニ ストア派

設問2 下線部②について、次の中から古代の主要な五つの教会（五本山）に該当しないものを一つ選びなさい。

- イ ローマ    □ コンスタンティノープル    ハ アテネ    ニ イェルサレム

設問3 空欄A～Dにはローマ皇帝の名前が入る。その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- イ A：ネロ    B：ディオクレティアヌス    C：コンスタンティヌス    D：テオドシウス  
□ A：コンスタンティヌス    B：ディオクレティアヌス    C：ネロ    D：テオドシウス  
ハ A：テオドシウス    B：コンスタンティヌス    C：ネロ    D：ディオクレティアヌス  
ニ A：ネロ    B：テオドシウス    C：コンスタンティヌス    D：ディオクレティアヌス

設問4 下線部③のキリスト教にあった複数の考えについての記述のうち、明白な誤りを含むものを一つ選びなさい。

- イ アタナシウス派は父なる神と子なるイエスは同質だとし、この考えはのちに三位一体説として確立された。  
□ アリウス派はイエスを神によって創られた人間と見なし、異端とされた後もスラヴ民族に拡がった。  
ハ ネストリウス派はイエスの神性と人性を分離して考え、中国まで伝播して景教と呼ばれた。  
ニ 単性論はイエスに神性のみを認め、エジプトのコプト教会などに受け継がれた。

設問5 下線部④の東西の両教会についての記述のうち、明白な誤りを含むものを一つ選びなさい。

- イ キリスト教は元来偶像崇拝を禁止するが、コンスタンティノープル教会では、異教徒への布教の必要から聖像の使用を容認した。これに対してローマ教会では、イスラームに対抗するために、聖像が禁止されていた。  
□ 西ヨーロッパ世界では皇帝と教皇の二つの権力が並立していたが、ビザンツ帝国では皇帝がキリストの代理人として教会を支配し、最高の権力者であった。  
ハ 第四回十字軍は、コンスタンティノープルを占拠してラテン帝国をたてたため、ギリシア正教会とローマ＝カトリック教会は不仲となった。  
ニ ビザンツ帝国の文化と宗教は、帝国の滅亡後、ロシアに受け継がれ、モスクワの教会は、ギリシア正教の中心であると主張し、ロシア正教が発展した。

設問6 下線部⑤の教皇権に関わる出来事についての記述のうち、明白な誤りを含むものを一つ選びなさい。

- イ 神聖ローマ帝国皇帝ハインリヒ4世は、聖職叙任権を争って教皇グレゴリウス7世から破門され、それを取り消してもらうため、カノッサで許しを請わねばならなかった。
- ロ 十字軍に参加した諸侯や騎士の家系が断絶することも多く、その所領を没収した国王が権力を伸ばした。
- ハ 教会の墮落に対する批判は、アルビジョワ派など内部での異端信仰となって現れた。討伐のためにしばしば十字軍と呼ばれる軍隊が派遣されて、鎮圧を行った。
- ニ イタリアの政情不安により、教皇クレメンス5世はアヴィニオンに教皇庁を移したが、逆に70年の間フランス王の監視下に置かれることになった。これは「大シスマ」と呼ばれる。

設問7 下線部⑥の運動についての記述のうち、明白な誤りを含むものを一つ選びなさい。

- イ ラテン語の聖書を、イギリスではウイクリフが英語に、ベーメンではフスがチェコ語に訳した。
- ロ ルターの教えに従ったドイツの諸侯は、カトリック教会の権威から離れ、領内の教会の首長となり、修道院の接収などを行った。
- ハ カルヴァンはフランスから亡命してジュネーヴで活動し、救いは意志や善行と無関係で神によって決められているという「予定説」を唱えた。
- ニ カルヴァン派は、スコットランドではプレスビテリアン、フランスではゴイセン、オランダではユグノーと呼ばれた。

設問8 下線部⑦の時期の宗教上の動きについての記述のうち、明白な誤りを含むものを一つ選びなさい。

- イ 神聖ローマ帝国内にあったベーメンでは、ハプスブルク家がカトリック信仰を強制したのに反抗して貴族や民衆が反乱を起こし、三十年戦争と呼ばれる長期の戦乱が始まった。
- ロ フランスでは、新教徒であったブルボン家のアンリは、王位に就くとアンリ4世となってカトリックに改宗したが、ナント勅令を発して、新教徒にも信教の自由を与えた。
- ハ 新旧両派の調停をはかって、フランスのクレルモンで公会議が開かれたが、新教側がほとんど出席せず、旧教側が教皇の至上権を確認するに終わった。
- ニ スペイン貴族であったロヨラはイエズス会を結成して海外布教に乗りだし、同会のザビエルはインドから東南アジアへと布教したのち日本へはじめてキリスト教を伝えた。

V ナポレオンによるドイツ支配からドイツ帝国の誕生に至るまでの歴史的過程を、オーストリアの役割に留意しながら、以下の語句を列記した順に用いて、250字以上300字以内で記述しなさい。なお、句読点、数字は1字に数え、所定の語句には必ず下線を付しなさい。

ライン同盟

ウィーン体制

1848年革命

ビスマルク

[以下余白]

